

平成二十三年九月三日

東京de寺子屋 第四十九回

# 「宮大工 口伝の世界」

—西岡常一から小川三夫へ—

(株)寺子屋モデル 代表世話役 山口 秀範

斑鳩大工に伝わる口伝

- 一、 神仏を崇めずして伽藍社頭を口にすべからず
  - 二、 伽藍造営には四神相応の地を選べ
  - 三、 堂塔の建立の用材には木を買わず山を買え
  - 四、 木は方位のままに使え
  - 五、 堂塔の木組みは寸法で組まず木の癖で組め
  - 六、 木の癖組みは工人の心組み
  - 七、 工人達の心組みは匠長しやうちやうが工人への思いやり
  - 八、 百工あれば百念あり、これを一つに統とぶる。これ匠長の器量なり。百論一つに止とどまる、これ正なり
  - 九、 百論一つに止める器量なき者は謹み畏れて匠長の座を去れ
  - 十、 諸々の技法は一日にしてならず、祖神達の神徳の恵みなり、祖神忘れるべからず
- (十一、人に任せ、人に譲ることで、伝統の技を生きたものとして伝えていけ)

参考・・・大成建設 工場十訓

- 一、 始めこそ準備の甲斐はあるものを手遅れするな思案第一
- 二、 大局は忘れがちなりこころせよ されど小事に油断せずして
- 三、 親切に真心こめて働けば渡る世間はみな仏なり
- 四、 責任はおもきものなり後の世に残る仕事に恥をさらすな
- 五、 工人は仕事の宝ころしてけがわずらいをさせぬ用心
- 六、 上下のへだたりあれどまんまるく規律のうちには仲をよくして
- 七、 何事も工夫こらして進めかし無駄をはぶけば上下繁盛
- 八、 順序よくものとのえは自らよき働きはすすみこそすれ
- 九、 約束を守るところに信用の花は咲くなり実は結ぶなり
- 十、 終わりにこそ大事なりけり丁寧とんねいに清めてわたし後をにごすな